

佐久の林業のはなし

なりわい
～生業と自然の共存を目指して～

海と山の町、南三陸町。東日本大震災からの復興を機に町は持続可能な町づくりを目指しています。その中で、町の面積の 77% を占める山林を舞台に働く私たち株式会社佐久は持続可能な山林のありかたを日々考えながら、木材生産、山の手入れを行っています。では、持続可能な山林ってどんな状態の事を言うのでしょうか？木がたくさん生えていれば良いのか、皆伐が悪いことなのか。現在の南三陸町をはじめ、日本全国に共通する山林が抱える課題について考え、山を守る林業、自然と共存する林業についてお話しします。



2022 **9.20** (火) 19:00 - 20:30 [18:30 開場]

会場

上山八幡宮 社務所 2 階

[南三陸町志津川上の山 27-2]

参加費

入場無料

主催：南三陸ネイチャーセンター友の会

令和 4 年 南三陸町おらほのまちづくり支援事業補助金 採択事業

講師

株式会社佐久

佐藤 太一 (さとう たいいち)

南三陸町で代々林業を営む林家・佐藤家の 12 代目。「新しい林業の形」「持続可能な林業」を模索し、社会・経済・環境配慮型の林業に取り組む若手実業家。2015 年には自身が中心となって働きかけ、国際森林認証である FSC® 認証の取得に尽力し、宮城県林業における森林認証材の流通基盤構築にも貢献、南三陸林業の新たなポジションを構築した。また 2013 年より、林業をテーマに地域の教育活動、観光事業振興にも取り組み、南三陸町が掲げる「自然と共生する町」や「持続可能な町」を実践するべく、次世代林業の可能性の開拓に日々邁進している。



株式会社佐久

大淵 香菜子 (おおぶち かなこ)

東京農業大学大学院林学卒。森林生態学研究室に所属し、樹木の共存機構について研究。在学中に東日本大震災後に気仙沼市・南三陸町の被災した沿岸部の湿地調査へ訪れ、自然の豊かさに魅かれて大学院卒業後に南三陸町へ。株式会社佐久に入社し、山林の植生モニタリング、新しい山の資源活用として商品・プログラム開発を担当する他、山林情報整理・地図作成等を担っている。

